

青少年育成
鹿本地区委員会

鹿

第86号

本

4・3・31

編集・発行
青少年育成
鹿本地区委員会
江戸川区鹿骨
1~54~2
(江戸川区鹿骨事務所内)
☎ (3678) 6113

第43回鹿骨地区スポーツ連盟合同開会式

4月3日(日) 中止になりました

第45回鹿骨区民館まつり 5月15日(日) 中止になりました

どうやって火をおこす? 古代の火おこし体験
~たき火の化学~

▲火を使った実験
◀火をおこしている様子

いざという時の火の
おこし方が分かった。
火おこしが楽しかった。
またやりたい。

火が燃えると炭素などが
出て二酸化炭素ができる
ことなどが分かった。

火を体験したのが
初めてだったから
ドキドキしたけど
楽しかった。



生きている植物(緑色の
植物)は燃えにくいと
分かった。火を起こす
のは難しいと思った。

炭をどうやって
作るのか分かった。

火を扱うのが楽しかった。
来年また行きたい。
火を当たり前のように
使っていたので、
これから大切にしたい。

令和3年12月18日(土)10時~12時、都立篠崎公園バーベキュー広場で、小学生26人、保護者45人余りが集まり、「江戸川区子ども未来館」の協力の元、青少年育成鹿本地区委員会の主催で行われました。家庭ではガス以外の「炎」を身近に見る機会が少なくなっています。炭火が炎を上げて燃える様子を観察したり、発生するガスを調べたりして、物が燃える原理を学びました。ろくろひきを使った火の起こし方、着火した火を育てる方法、広口瓶の中で炭を燃やし、石灰水でCO₂の発生を確認する実験、消火のために酸素を断つ方法、温度を下げる方法を具体的に学びました。子どもたちは、それぞれに目を輝かせて注目していました。



江戸川区ホームページにも掲載をはじめました。
右のQRコードからページに移ります。





11月は環境をよくする強調月間です。「町の環境をよくするには」鹿骨管内の小、中学校の皆さんに、絵に表現してみようとお願いしてみました。

応募された総数1,455点の内、146名の方が区長賞、協議会長賞を受賞されました。

区長賞55名 協議会長賞91名

応募の絵画の一部はポスターになり、各町会、自治会の掲示板に掲載されます。

今年は、江戸川区でSDGsを標語に、持続可能な環境づくりのための試みを広めています。

絵画の中で、食品ロス、海の生き物を助けよう、ゴミ・タバコ・ペットボトルの投げ捨てをなくそう等が多く表現されていました。

これらの行動をとおして美しい町づくりにご協力をお願いいたします。

区長賞 協議会長賞



鹿骨区民館での展示風景



審査員による審査風景



掲載させていただいた方以外の区長賞や協議会長賞は江戸川区ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



子ども会紹介 ミニまつり

11月20日(土)鹿本育成室(旧鹿本幼稚園)を借りて「本一色子ども会ミニまつり」を開催しました。

例年同様の活動が見送りとなる中、初の試みとして企画、開催となりました。「ミニまつり」当日は、好天にも恵まれ、子ども49名、大人30名をグループに分け、少人数入替で行われました。くじびき・スーパーボール・わなげ・だ菓子等の各コーナーをお店屋さん・お客様と一緒に参加し、楽しいひとときを過ごしていました。



みんなで町をキレイに！ 西篠崎町会

秋の美化運動

令和3年11月21日(日)、昨年は新型コロナ禍のため実施できなかった「秋の一斉美化運動」が、2年ぶりに開催されました。当日は、あいにくの曇り空でしたが、町会、東寿会から約30名が元気に参加しました。(子ども会は、ワクチン未接種のため、不参加となりました。)

加藤町会長の挨拶の後、町内を4つのブロックに分け、7~8名のグループで一斉にスタートしました。以前よりはゴミの量が減ったような感じはしましたが、やはりタバコの吸い殻、空き缶、菓子の包装紙等のポイ捨ては、あいかわらず目につきました。また、最近目立つようになったのが、自転車の放置です。今日も1時間程の美化運動の中で数台が確認されています。

やはり、皆がゴミを捨てないように気を付けて、きれいな町づくりを目指したいと思います。



鹿本中学校吹奏楽部は8月8日(日)、府中の森芸術劇場で行われた第61回東京都中学校吹奏楽コンクールの東日本部門に出場し、金賞を受賞しました。同時に、東日本学校吹奏楽大会に参加する東京都の代表に選ばれました。

そして、10月9日(土)、札幌コンサートホールKitaraで開催された第21回東日本学校吹奏楽大会でも金賞を受賞。さらに、連続3年出場校として表彰されました。翌日の朝日新聞は「江戸川区立鹿本は天野正道の『瑜伽行中觀～吾妻鏡異聞』を神秘的な響きで聴かせ」と伝えました。

昨年は、新型コロナの影響でコンクールが中止になりました。出場を果たせなかった先輩たちの思いや自分たちが出場できる喜びを胸に、在校生は毎朝、放課後、休日にも練習を重ねました。

大会出場にあたり、保護者や地域の皆様に多大なご支援、ご声援をいただき、ありがとうございました。日頃から温かく見守ってください、心より感謝申し上げます。生徒が安心して活動できますよう、今後ともよろしくお願ひいたします。



鹿骨小学校 夏の日光 移動教室へ行きました



本校6年生児童が、8月3日から2泊3日で日光移動教室へ行きました。避暑地なので、東京ほど暑くなく、天気にも恵まれて、全ての行程を予定通りに行いました。

初日は大谷資料館に行き、大谷石採掘の歴史について学び、地下の採掘場は、東京ドームがすっぽりと入ってしまうほどの大きさに驚かされ、また、夜のキャンプファイヤーも大いに盛り上がりました。2日目は戦場ヶ原ハイキングを行い、華厳の滝・湯滝・竜頭の滝と奥日光三名瀑をすべて見てきました。3日目は日光東照宮へ行き、陽明門や三猿を見学し、ナンバーワンスーパーガイドさんの説明に興味津々の6年生でした。

宿舎内では、感染症対策に気を付けて過ごし、寝食を共にし、団体生活をしたことで、仲間との絆が深まり、何物にも代え難い貴重な体験を積み、鹿骨小学校での素敵な思い出となりました。



準優勝 上一色中学校 軟式野球部 全国大会



コロナ禍の令和3年の夏は、2年ぶりに公式戦が行われ、令和元年度に続いて都大会を優勝した勢いそのままに関東大会でも準優勝し、関東地区第2代表として全国大会に出場しました。1回戦を劇的なサヨナラホームランで勝利すると、その後も順当に勝ち上がって決勝戦に進出することができました。決勝戦当日は2学期の始業式に重なり直接の応援はできませんでしたが、『全国を獲る』という強い意志のもと、初の全国制覇を目指して臨んだ決勝でした。惜しくも島根県の太田市立第二中学校に敗れ、2度目の準優勝という結果でしたが、コロナ対応による制限の中、基礎練習を中心とした地道な日々の努力が実を結んだ



ものと思い、すべての部員に対して誇らしさを感じています。悲願達成は次代に託すとして、この結果は今後の学校生活にも必ず生きてくるものと信じ、一人ひとりのさらなる成長を期待したいと思います。

最後になりましたが、ここまで辿り着くことができたのは、野球部保護者の皆様のご協力と、PTAや地域の皆様方の温かいご支援があったからこそであり、そのことに対して心より感謝申し上げます。